

毎日が初体験！訪問団の様子をご覧ください。



黒船祭での記念写真



ニューヨーク市立大学での講演の様子



タウンゼント・ハリスの墓参



風作りで国際交流



野球観戦に熱中しました



ペリー提督墓前祭



市長室でナポリターノ市長と面会



ニューポート市役所



# 姉妹都市 ニューポート市訪問滞在記

下田市長 楠山俊介

第32回ニューポート黒船祭に7月14日、21日、4名の中学生を含む13名の下田市訪問団として参加いたしました。私は市長就任以来2回目として、より充実したものになるよう、また、参加者の大多数が初体験ですので、先導できるよう努めました。この訪問には大きく3つの目的があります。

## ハリスとの縁

まず一つ目が、ニューヨークでの「タウンゼント・ハリス墓参」と「ニューヨーク・シティカレッジ訪問」です。私たち下田市民にとりまして、タウンゼント・ハリスは「米初代駐日総領事」として、初領事館を下田市栢崎の玉泉寺に設置し、日米交流、開国の歴史の偉人」であります。彼のもう一つのライフワークが「教育」であり、日本赴任の10年前にニューヨーク市教育局長を務め、「貧乏な子ども金持ちの子ども平等に無償で学べる開かれた大学」を理念に、シティカレッジの母体となるフリーアカデミーを創設しました。

大学古文書館にて、タウンゼント・ハリスの人物像、功績を講義いただき、その中で下田との関係の重要性を聞くことで、中学生共々、下田の開国の歴史を改めて誇りとなりました。

## 海の向こうの黒船祭

二つ目は、ニューポート黒船祭への参加であります。記念式典において祝辞と花輪奉獻を行い、晩餐会では鏡割り、ペリー提督墓前祭では平和への誓いを述べました。

それぞれの場面におきまして、下田市訪問団の位置付けは重要であります。ロードアイランド日米協会長バイナリ様、ニューポート市長ナポリターノ様には、国内外からの多くのご来賓の中、下田市訪問団を格別にご迎えいただき、交流の温かさ、深さを改めて感じました。

式典での私とナポリターノ市長との花輪奉獻の模様や私の祝辞が地元紙「ニューポート・デイリー・ニュース」の一面に掲載されました。黒船祭行事のワークショップに下田市ブースを開設し、来場の

皆様に、風作り、書道、折り紙の体験を提供しました。訪問団の市民の方や中学生が指導し、大活躍、大好評でした。

## 姉妹都市交流

三つ目は、ニューポートの皆様との交流です。長きにわたる姉妹都市としての友好の歴史に今回も「楽しく有意義な1ページ」が加わりました。市民歓迎会、歓迎夕食会、フエアウェルパーティー等を通して、市長、議員の皆様や多くの市民の皆様との交流ができました。市役所訪問やハーバー見学、セーリング、マンションツアー等を通して、ニューポートのまちの素晴らしさを感じました。

今回はプロ野球開催日に遭遇し、ニューイングランドリーグの地元チーム「ニューポート・ガルス」の試合を観戦しました。ナポリターノ市長や議員の皆様もご家族で観戦され、多くの市民の皆様が熱狂的に応援されていました。ローカルリーグとは言え、本場米野球の醍醐味を感じました。開会式において下田市訪問団の紹介をしていただき

ました。

ニューポートとの交流として、欠かすことのできない素晴らしいものは、中学生の参加であります。前述の公式行事への参加とともに、ニューポートではホームステイを経験させていただいております。この設営にご尽力いただいておりますニューポートの関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

先日、参加4名の中学生と帰国後の報告会を行いました。出発前や初日は不安そうな表情もありましたが、楽しく有意義な体験だったと満面の笑顔で感想を述べていただきました。

特に、ホームステイでの体験は素晴らしく、もっと長く滞在したかったとの感想でした。このような国際交流を推進する下田市の「まちの姿」を自負するとともに、この根幹である「まちの歴史」を学び、楽しみ、誇り、育て、伝えていくことが必要です。

訪問団全員がこの大切さを再認識した、楽しく有意義な旅でした。ありがとうございました。